

今号のテーマ

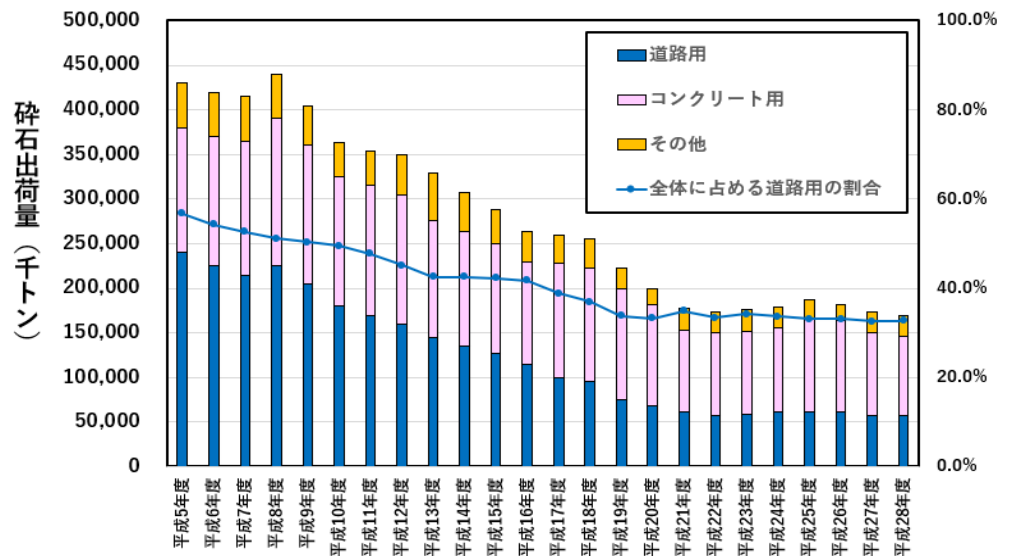
天然砕石と再生砕石の出荷量と利用量の推移について

今号では、日本国内における「砕石全体の用途別出荷量の推移」と「天然砕石と再生砕石、鉱さいの利用量の推移」について各省の調査結果を基に解説します。



砕石全体（天然砕石＋再生砕石）の用途別出荷量の推移¹⁾

平成5年度から平成28年度にかけて砕石全体の出荷量は、減少傾向にあり、この間に約60%減少しています。特に、道路用としての出荷量が減少しており、この間に約75%減少しています。

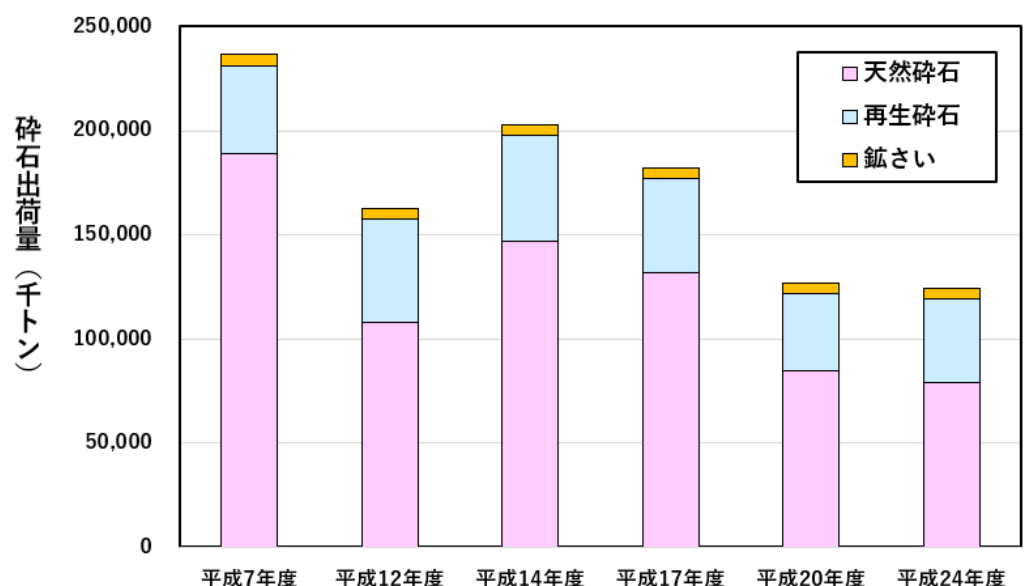


1) 出典：砕石等動態統計調査（経済産業省）、平成30年度建設廃棄物の再資源化に関する調査・検討業務報告書（環境省）2019年3月



天然砕石と再生砕石、鉱さいの利用量の推移²⁾

平成7年度から平成24年度にかけて、再生砕石と鉱さいの利用量はほとんど変化していないのに対して、天然砕石の利用量は約60%減少しています。2025年現在もこの傾向は続いており、再生砕石の利用量は、天然砕石の利用量に近づきつつあります。



2) 出典：建設副産物実態調査（国土交通省）、平成28年度建設廃棄物の再資源化に関する調査・検討業務報告書（環境省）2017年3月